

7 幼小連携部会	部会テーマ	園長・校長のリーダーシップがつかなく架け橋期の子どもたち
内 容	「幼保小の架け橋プログラム」事業により、幼小の連携・円滑な接続、架け橋期の教育の充実の重要性について改めて確認された。架け橋期の教育を充実していくためには組織的・一体的な取組が求められており、管理職の理解と実動力が重要な鍵となる。本部会では、管理職がリーダーシップを発揮して幼小の円滑な接続のために園全体・学校全体で取り組む実践を紹介することで、架け橋期の教育の充実について考える機会とする。	
部 会 担 当	天川 有紀 (総合教育センター)	指導助言者 大豆生田啓友 (総合教育センター)

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

説明

架け橋期の充実の鍵

～園長・校長の理解と実動力～

15時10分～15時15分

総合教育センター幼児教育部 天川 有紀

架け橋期の教育を充実していくためには、幼小の組織的・一体的な取組が求められている。架け橋期の充実の鍵となる管理職のリーダーシップの重要性について提案する。

発表①

幼小連携を楽しく行うための園長・校長の役割

～教職員が負担なく連携を行うために～

15時15分～15時45分

山王認定こども園 中里 光江
宇都宮市立富屋小学校 五十嵐市郎

幼小の連携の重要性は誰もが分かっていることであるが、実際に関わる担任にとっては、難しさを感じるものが少なくない。ここでは、担任が幼小連携を前向きに捉え、有意義な連携・活動とするために、園長・校長が取り組んだ連携の計画や実際の活動について発表する。

発表②

今こそ幼保小連携を深めるために

15時55分～16時25分

那須高原保育園 芳賀 千尋
那須町立那須高原小学校 遠藤 克朗

幼児期の子どもは、諸感覚を働かせ、自ら環境に関わり、遊びを通して様々な経験を積み重ねる中で自己肯定感や非認知能力を高めていく。その力を小学校で生かすキーワードは「ゆるやかな接続」であると捉えている。ここでは、その実現のための双方の意識改革における園長・校長の役割や実践について発表する。

質疑等

16時25分～16時35分

指導助言

16時35分～16時50分

総合教育センター幼児教育部 大豆生田啓友